

2015 Calendar

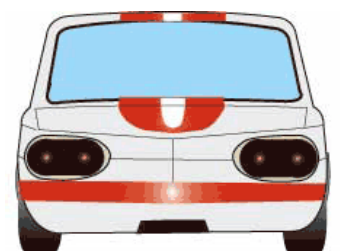
日野自動車 待望の自社開発世界市場戦略車の誕生

コンテッサ1300デビュー

イタリア、天才スタイリスト、ジョバンニ・ミケロッチェの100%内外装デザイン

日野の先進的技術開発の結集、エンジン、シャシー、ボデー
オーナー車市場の創出、国内展開、そして輸出戦略

(切り取られた自動車文化史 - 日野コンテッサ)



Created by HinoSamurai.org

The owner of HinoSamurai.org own the copyright of the content of this calendar.



2015.1.



Ver.2015.1

January & February - 2015

	S	M	T	W	T	F	S
1					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31



2	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	17
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28



1964年6月：豪州耐久試験

1964年6月18日～8月15日、オーストラリア・ブリスベーンを起点に独特のピッチマン（簡易舗装）2万キロを超える最終段階の長時間にわたる高速耐久試験を実施した。輸出市場へのアピールでもあった。試験途中のダーウィンでは、オーストラリア自動車誌「ホイールズ」に追跡され、「トップ・シークレット - 日野ニューコンテッサの全貌」と詳細な特集記事がさぐさま報じられた。

March & April - 2015

3

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



1964年8月：生産ライン始動

1964年7月には運輸省立会試験を終え、8月24日、新型自動車第2741号としてコンテッサ1300 (PD100) は審査完了、全国の陸運局に到達された。従前に始まっていた量産に拍車がかかった。コンテッサ900発売前の1960年から進めたコンテッサ1300計画、イタリアの天才スタイリスト、ジョバンニ・ミケロッチ氏のデザインを100%具現化した日野の自前の技術とのコラボの成果は市場に羽ばたいて行った。

May & June - 2015

5

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



新発売 日野 **コンテッサ** 1300 試乗ご案内

日時 9/6 13 20 23 (日) (日) (日) (水)

会場 銀座 **松屋**

五階自動車販売係 (567) 1 2 1 1 内2526

全く新しい“コンテッサ”誕生
 ○すばらしい高燃費性能を発揮します。
 ○室内の広さはこのクラス最大です。
 ○気品ある豪華なスポーティセダンです。
 ○休日の旅行もフルにお楽しみ下さい。

スタンダード ¥563,000
 デラックス ¥653,000

日野自動車販売株式会社 東京日野モーター(株)
 本社 電 (441) 9251 代内9
 上野 電 (871) 9194 代

1964年9月：新型車発表会

1964年9月、コンテッサ1300セダンは発売となった。前日の8月31日には、ミケロッティ氏も同席し、東京高輪プリンスホテルにてコンテッサ1300及び同クーペの発表会をすすめた。発売と同時に販売元の日野自動車販売・東京日野モーターは、東京銀座・松屋の自動車販売係とタイアップし、「まったく新しい“コンテッサ”」の試乗会を連日実施した。

July & August 2015

7	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

8	S	M	T	W	T	F	S
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						



1964年10月：パリサロン

1964年10月1～11日、第51回パリ・モーターショーへと、東京モーターショーに先駆けた。前週の9月25日、パリ最高級レストラン、ブローニュの森・プレカトランで松方社長自ら欧州メディアに発表を行い、パリ郊外モンレリー（パリGPなどで有名）では一流GPレーサー相手に試乗会も行った。しかし、販売へのホモログは当局の規制（特に安全面、シートベルト試験など）で長期の時間を要し、1966年末まで要した。

September & October - 2015

9	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				

10	S	M	T	W	T	F	S
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	



1965年4月：クーペ発売開始

1965年4月1日、市場から大きな期待があった待望のコンテッサ1300クーペの発売開始となった。コンテッサ900スプリントを彷彿されるエレガントなクーペは純粋なスポーツカーと言うよりは、ディスクブレーキやツインSUキャブなど基本を抑え、内装にイタリアン・スポーツのゴージャス感をもった豪華4座スポーティカーとしてポジションした。欧州向けの戦略にはカタログに「Made in Japan」を際立たせ、「城＝日本文化」などのイメージを強調していた。

November & December - 2015

11	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

12	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		



1965年7月：名誉大賞！

1965年7月10～11日、フランス、ニースに近い紺碧の地中海に面したイアリア、アラッシオでの国際自動車エレガンスコンクールで、日野コンテッサ1300クーペは名誉大賞（Premio d'onore）、セダン是一位に輝いた。ミケロッチ氏のデザイン技術と日野のエンジン・シャシーなどの実装技術が欧州で評価された瞬間だった。その後も1966年7月、ベルギーのフランドル地方のノッケ他、1967年までに各地で4度の栄誉となり、日本車として先にも後にもない快挙だった。

Never Fade Away

(現物をもって後世に語り継ぐ - 日野コンテッサの挑戦、今も続く)



パワートレインの電気・電子化を進めた2013年型日野コンテッサ1300クーペ "L"、2014年はその熟成、さらにディストリビュータレスへと進化



Best of Competition Car賞、横浜ヒストリックカーデイ3rd



2014.12.7、東京都国立市谷保天満宮境内：谷保天満宮1日車祭2014



2014.3.16、千葉県立現代産業科学館：クラシックカー・スポーツカー-in 科学館



2014.9、ディスカバリーチャンネル：愛車自慢コンテスト、モデルカー部門



2014.10.19、山形県東置賜郡高島町：クラシックカーレビュー IN 高島 2014



2014.11.8、神奈川県横浜市赤レンガ：横浜ヒストリックカーデイ3rd